

各 位

会 社 名 関東電化工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 富田 芳男  
(コード番号 4047 東証第 1 部)  
問合せ先 人事総務部専任部長 浦本邦彦  
(TEL . 03 - 3216 - 4561 )

## 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 8 月 12 日の第 1 四半期業績発表時に公表した平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

- 1 . 平成 18 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)  
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	17,200	650	2,800
今 回 修 正 予 想 ( B )	17,424	1,063	2,127
増 減 額 ( B - A )	224	413	673
増 減 率 ( % )	1.3	63.5	-
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月中間期)	17,189	1,566	846

- 2 . 平成 18 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)  
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	35,000	3,100	1,100
今 回 修 正 予 想 ( B )	36,000	3,300	1,000
増 減 額 ( B - A )	1,000	200	100
増 減 率 ( % )	2.9	6.5	-
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	34,827	2,911	1,478

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 18 円 09 銭

### 3．修正の理由

当中間期の売上高につきましては、基礎化学品事業部門は若干計画（8月12日修正後の計画。以下同じ）を下回りましたが、精密化学品事業部門はほぼ計画どおりとなりました。その他事業部門は計画を上回り、全体では若干増収となりました。精密化学品事業部門のなかでは、主力の三フッ化窒素はほぼ計画どおりで推移しており、電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、電池需要の回復により計画を上回りました。

売上原価ならびに販管費につきましても、コストダウンの効果および減価償却費の減少等により計画を下回っております。

渋川工場ソーダ電解事業撤退に伴い、特別損失として「事業再構築に伴う損失」を13億97百万円（当初より計画に折込済。なお、個別ベースでの損失額も同額）計上いたしますが、一部有税で償却するため、当中間期において新たに税効果が発生し、当期純利益を増加させております（ただし、通期での影響はありません）。

通期につきましては、今後、半導体・液晶ラインの増設等に伴い、フッ素系ガスの販売が増加すると予想しておりますが、競争激化による販売価格低下と原燃料価格の高止まりが予想されることから、売上高は360億円（前回公表数値に対して10億円増）、経常利益は33億円（前回公表数値に対して2億円増）、当期純利益は10億円（同1億円増）と予想しております。

以 上